

防災授業「水害について考えよう」実施報告書

あんぜん・あんしん委員会

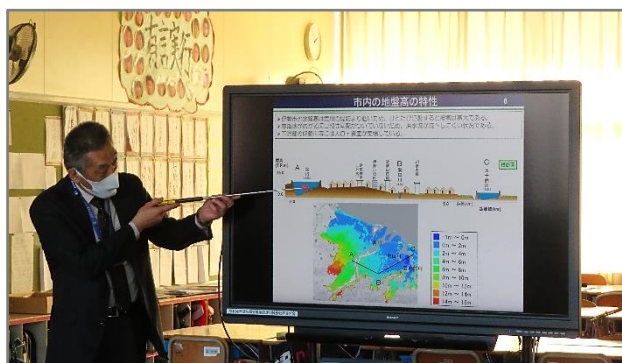
12月15日(火)明倫小学校において、6年生児童を対象にした防災授業「水害について考えよう」が行なわれました。

はじめに伊勢市危機管理課から「伊勢市の地形について」「大雨の時は避難に勝る対策なし(逃げる)」「タイムラインを作ると逃げ遅れない(市・自治会・個人)」などを学びました。

その後、校長先生から被害想定の説明があり、児童は「めいりん地区水害対策シート」を見ながら災害発生時のリスクや浸水しやすい箇所を確認しました。

【被害想定】


- ・ 予想が難しい線状降水帯が発生し、1時間に80mm以上の猛烈な雨が明倫地区に降り続いた
- ・ 満潮時刻とも重なり勢田川の水位が急上昇したため、朝川や側溝等から水があふれ出した
- ・ 道路は冠水し、保護者が車で迎えにくることも歩いて下校することもできない
- ・ 水深は1mにもなり、明倫小学校は孤立した状態となった(停電・断水)
- ・ いつ水がひくか分からず、夜を越すことになった
- ・ 児童(330人)は、全員3階に避難した
- ・ 先生は浸水の対応や保護者への連絡に追われているため、3階の運営を6年生に託すことにした
- ・ 備蓄品は「毛布200枚」「ビスケット200人分」「水(500ml)300本」しかない



その後、各班に分かれて「明倫小オリジナルの題材による避難所運営ゲーム形式の学習」を行ないました。子どもたちは設問に対して互いに意見を出しあいながら対応策をまとめました。


【設問および対応策の紹介】

食料を配ろうとしたら
ビスケットは200人分、
水は300本しかありません。
どうしますか。




- みんなで分ける(低学年を優先する、均等に分ける)
- 学校内の食料を探す ○雨水を利用する(浄化して使う)
- 工夫をする(ビスケットを水でふやかす) ○我慢する
- 節約する(水筒の水を先に飲む、1回に食べる量を少なくする)
- 水を入れる容器を使う(水筒、歯磨きコップ)

夜になると気温が5℃になりました。
寒くてふるえている子がいます。
どうしますか。




- 体を暖める(運動する) ○食料を使う(食べると体温が上がる)
- 温かい水を飲む(理科室のガスコンロとピーカーを使う)
- 上着や毛布を配る
(震えている子や病気の人を優先する、2人で一緒に使う)

夜になったら、低学年の子が何人か
不安で泣き出しました。
一人が泣くと次々に泣いています。
どうしますか。



- 一緒に遊ぶ(お絵かき、歌、絵本、トランプ)
- 安心させる(寄り添う、なぐさめる、優しい声をかける)
- おもしろいことを言って笑わせる
- 部屋を明るくする(懐中電灯やペットボトルを使う)

次の日、
熱のある人が何人か出てきました。
どうしますか。



- 隔離する(病気の方は別の部屋にする)
- 病気の人に水や毛布を優先して渡す
- 冷やす(ハンカチやタオルを水で濡らして使う)
- 予防する(マスクを着用する) ○保健室にあるものを使う

各班の発表では、柔軟な発想で対応策を考える、低学年や体調を崩した人を優先する、感染対策も考慮するなど、「さすが6年生」と感心する内容ばかりでした。

最後に「避難所ではみんなの協力が必要になる」「災害が起こってからではなく、日頃から考えておくことが大事」などの講評をいただき、体験を通して「自助」「共助」について学ぶ機会になりました。

【避難所運営ゲーム (HUG) の様子】

